

BULLETIN OF THE FACULTY OF HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No. 18 February, 2022

CONTENTS

Table listing authors and article titles with page numbers, including Kentaro USUKI, Tomoya IWATSUKI, Motohiro MIYAZAKI, etc.

発達教育学部紀要

第十八号

令和四年二月

京都女子大学発達教育学部

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 18 号

令和 4 年 2 月

Table listing authors and article titles with page numbers, including 臼杵健太郎, 岩槻知也, 宮崎元裕, etc.

令和3年度

大学院発達教育学研究科 修士論文題目

〈教育学専攻〉

山田 たま グローバル・コミュニケーションの視点に基づく小学校英語科の授業開発—内容言語統合型学習の援用を通して—

〈心理学専攻〉

河村 彩花 青年期における過剰適応傾向とストレス反応及び主観的幸福感の関連—セルフ・コンパッションに着目して—

高木 理央 個人特性としての共感性が対象別の利他行動に及ぼす影響

橋本 菜那 運動機能と遂行機能との関連性についての神経心理学的研究

長谷川 未怜 大域処理・局所処理の方向付けが有効視野に与える影響

〈表現文化専攻〉

小路山 はるか F. ショパン 《Polonaise-Fantaisie》 Op.61 に関する一考察

裴 眞珠 日韓の伝統楽器のための楽曲創作と演奏実践—複数のアイデンティティを持つ者としての表現

森 近 ひびき ドイツ歌曲の歌唱法について ～ロベルト・シューマン《女の愛と生涯》Op.42 に表された言葉と表現に着目して～

〈児童学専攻〉

蛭 間 壽々子 幼児における運動器機能と体格・体組成との関連性

注) このリストは令和4年1月20日に提出された修士論文題目に基づいて作成しています。

令和3年度

発達教育学部教育学科 卒業論文・制作題目

教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
穴水美幸	小1プロブレムを防ぐ保育活動	(難波)
阿部かなみ	特別支援教室に通級する児童の困難に対する支援 ～境界知能・グレーゾーンの子どもに焦点をあてて～	(玉村)
新井萌恵	運動時における音楽が学習者に与える影響について	(大橋)
安西佳歩	自然体験活動が子どもたちに与える影響	(宮野)
居附佐枝	フィンランドと日本の教育の国際比較に関する研究	(坂井)
稲田爽花	発達特性に基づいた玩具の研究	(辻)
今津朋香	小学校の運動会における集団演技指導について	(大橋)
居森理紗	成長的思考態度 (growth mindset) 獲得における自然体験活動のあり方	(宮野)
岩崎小桃	いじめへの意識を変える環境づくりについて - 女子大生へのアンケート結果より -	(玉村)
上田彩乃	多様な性の尊重に必要な意識と姿勢-宝塚歌劇をもとに考える性の価値-	(宮崎)
上野山咲智	依存症から考えるゲームとの付き合い方	(宮崎)
内田知花	二重に支援が必要な子どもへの教育 (2E 教育) の実践と展望	(宮崎)
梅本葵	読み解く力を育成する国語科授業実践-考え、表現する児童を育む-	(水戸部)
浦上裕香子	不登校問題における学校とスクールソーシャルワーカーの連携の在り方 ～両者が協働しあえる組織づくりをめざして～	(松岡)
浦田美里	栽培活動を中心とした自然体験活動と子どもの成長 ～エディブル・エデュケーションを通して～	(宮野)
戎井優香	いじめが起こる要因の分析 - 加害者の心情に着目して-	(齊藤)
大川結衣	日本の今後の ICT 教育 ～社会の変化により、必要とされる ICT 教育とは～	(福永)
岡野愛璃	道徳科との向き合い方 ～読み物教材への問題意識をもとに～	(村井)
岡本穂	運動会における集団演技の意義 - 運動会の集団演技実践を通して-	(大橋)
笥美樹	江戸時代の教育から考える主体的・対話的で深い学び	(宮崎)
加生光	プログラミング教育の動きと理科教育での実践	(宮野)
加藤栞	発達障害を抱える子どもたちをどう支えるか - 学習障害に着目して-	(玉村)
金谷美玖	マインドフルネスの教育現場への導入	(辻)
金森京香	小中一貫の教育～一貫校の取り組みより～	(玉村)
河井愛奈	絵本の読み聞かせと家庭教育	(表)
川村菜月	知的障害のある言語発達遅滞者のコミュニケーションについての研究	(落合)
神田萌子	総合的な学習の時間における小学校プログラミング教育に関する研究	(坂井)
北野帆乃香	『生きづらさ』を抱えた子どもたち	(谷川)
黒瀬葵	持続可能な社会を考える家庭学習教材の研究～SDGs の視点から～	(辻)
光野真由	女性のキャリア	(谷川)
小橋唯華	初等教育段階における創造的思考力の育成 - システム・デザイン思考モデルに基づくクロスカリキュラム形成を通して-	(松岡)

発達教育学部紀要

小林 未奈	地域の価値を継承・発展させるための実践に関する考察—京都市崇仁地区の皮革産業を事例として	(岩槻)
今野 未来	子どもの貧困と食育	(表)
竿下 あずさ	カンボジアの教育	(表)
阪口 友野	初等教育におけるプログラミング教育に関する研究—イングランドのComputingと比較して—	(坂井)
坂本 萌	宿題で変わる学校教育の可能性	(齊藤)
佐武 元枝	自然科学が好きな子どもを育てるには—探究活動を取り入れた授業づくり—	(宮野)
三瓶 春果	異文化理解を深める社会科授業開発 —小学6年生「観光名所モンサンミッシェルと宮島」を事例として—	(松岡)
重松 里奈	仕事と育児の両立に向けた地方自治体による支援制度	(表)
島袋 美桜	LGBTと家族・学校教育 ～LGBTを題材にした映画を素材として～	(玉村)
清水 美咲	発達障害と自己肯定感に関する研究	(落合)
白瀧 結希乃	貧困の連鎖における子どもの学力格差	(齊藤)
新保 友佳子	学校教育における演劇的手法の意義と可能性	(村井)
杉田 実咲	新規学卒者の早期離職の要因と防止策	(福永)
砂川 恵理	子どもの居場所となる学童保育のあり方に関する考察	(岩槻)
瀬古 菜々子	子どもの学力と学習塾のあり方 —中学入試を中心に—	(玉村)
高橋 沙羅	発達障害と不登校	(落合)
高橋 涼菜	児童虐待と貧困・格差社会について～福祉的支援の構築を考える～	(谷川)
武田 明香里	園生活における子どもと音のかかわりについて—保育者の音意識の視点から—	(村井)
竹本 菜々	学校施設や地域教材を活かした自然体験活動の課題と子どもたち ～地域教材を活かした指導案の検討～	(宮野)
多田 葵	算数科文章題におけるメタ言語的機能を用いた授業の開発	(坂井)
辰巳 真歩	絵本の読み聞かせを取り入れた国語の授業構想—本好きな子どもたちを育てるために—	(水戸部)
蓼原 美紀	発展途上国の教育における授業研究に関する研究	(坂井)
玉利 沙貴	多様化する学習者に対応する日本語教師に求められる資質・能力に関する考察	(岩槻)
寺沢 湖都音	教育が女性のライフコースに与える影響 - 明治～昭和時代と現代を比較して -	(表)
東地 涼華	シンガポールと日本の初等社会科教育に関する研究	(坂井)
戸田 菜々	不登校児童に対する学校教育のあり方—オランダ教育と比較して—	(村井)
中野 佳代	幼児期の食育のあり方について—食物アレルギーに着目して—	(村井)
中村 紗瑛子	日本初等教育のあり方に関する—考察について～オランダのオルタナティブ教育から～	(村井)
中村 莉子	実生活に生きる読みの授業を展開するためには —児童主体の授業構想—	(水戸部)
中山 初華	体育科「心の健康」の授業改善—児童の学校生活におけるストレスの実態調査と授業実践を通して—	(大橋)
永野 遥麗	性の多様性～セクシュアルマイノリティと同性婚～	(辻)
成見 桜	数学的モデリングを用いた「関数」指導に関する研究	(坂井)
西島 苑美	教育相談の体制づくり —教育・福祉・心理の連携に着目して—	(松岡)
馬場崎 碧	知的障害者の雇用にあたって民間企業に必要な配慮の検討	(落合)
伴 日南子	視覚障害児のための絵本作成に関する研究	(落合)
東村 有沙	学童保育の現状と課題	(表)
久田 佳奈	知的障害者の意志決定支援と支援者ケアを考える	(玉村)
平井 葉月	児童を日常的な読書へと誘う国語科の指導について—物語文を読むことの指導に着目して—	(水戸部)
藤井 彩華	コミュニケーション能力を育成する言語活動の構成と展開—話すこと聞くことを楽しむ児童の育成—	(水戸部)

卒業論文題目

藤居 玲 菜	自然体験活動の課題と自然の少ない都市部のできる活動について	(宮野)
藤原 朋 加	フィンランドとの比較から見た日本の制度とキャリア教育	(福永)
藤原 有 花	子ども食堂の少年非行防止機能	(谷川)
本多 妙 果	幼小連携を意識した生活科の授業	(齊藤)
前原 望 美	食物アレルギーと学校給食について	(辻)
増本 栞 里	協同学習と主体的・対話的な教育実践から考える ICT 教育	(宮崎)
松川 瑠 莉	男性の育児休業取得に対する企業の姿勢と家庭への影響に関する考察	(岩槻)
松村 啓 加	学級を居場所に変える哲学対話	(宮崎)
松本 萌 里	幼児の音楽と遊びについて	(難波)
丸山 幸 音	公塾連携事業について	(表)
水谷 令 奈	「生きる力」育成における哲学対話の可能性	(福永)
水野 梨 乃	運動が好きな人が勉強嫌にならないためには	(大橋)
見瀬 真紗美	家庭環境や価値意識の変化から捉える高校生の進路選択に関する考察	(岩槻)
三谷 和可奈	自己決定理論に基づく小学校英語学習の授業開発 ～「読むこと」「書くこと」に焦点付けた ICT の効果的な活用を通して～	(松岡)
宮井 陽 加	教員の立場から見た特別な配慮を要する児童に対する教育現場での支援について	(落合)
三宅 彩 未	「言葉への信頼」を持つことができる「伝え合う」活動へ	(水戸部)
村田 萌々音	図工科教育におけるキット教材の研究	(辻)
本屋敷 かえで	学校生活と自己肯定感に関する研究	(落合)
森川 風 輝	多様性を価値と捉えるための教育と教員養成－オーストラリアの教育から－	(宮崎)
森田 さや香	デジタル教科書を活用した PISA 型読解力を高める小学校社会科の授業方略 — 第5学年単元「自然災害を防ぐ」の場合—	(松岡)
安田 萌	想像力を育成する授業構想—思いやりをもった児童の育成—	(水戸部)
山 寄 有 花	スウェーデンにおける子育て支援制度及び施設の実践に関する考察	(岩槻)
山本 千 尋	各学校段階の「スクールカースト」の特徴といじめ構造の関連性に関する考察	(岩槻)
山本 陽 菜	自己決定による影響と児童の自己決定力を育むために	(村井)
横山 実 紅	合理的配慮に基づく通常学級での発達障害児への支援と指導	(難波)
米川 麻 里	安心できる居場所づくりのための理想的な学級経営	(松岡)
若林 未歩子	母娘間の毒親問題～ディズニープリンセス作品から見た嫉妬感情をもとにして～	(大橋)
和田 幸 歩	女子大生のボディイメージと痩せ願望	(大橋)
松本 晃 奈	特別支援学級在籍児童への教育支援	(玉村)
小泉 彩 夏	インクルーシブ教育の現状と今後の課題	(落合)

心 理 学 専 攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
青木 優 花	レジリエンスがストレスフルな体験の意味づけに及ぼす影響について—反すう、実行機能に着目して—	(岩原)
新井 深 希	マスク等による顔の遮蔽が顔魅力に及ぼす影響	(伊東)
荒田 桃 香	青年期女子における過剰適応傾向と主観的幸福感との関連 —自尊感情の高低に着目して—	(稲塚)
安念 由香子	女子大学生の運動セルフエフィカシーと運動行動変容ステージの関連および運動習慣の形成に影響を与える要因の検討	(岩原)
井戸辺 瑠 花	COVID-19 に対する恐怖が女子大学生による男性の顔の魅力判断に与える影響	(伊東)
稲葉 美 羽	「ナナメの関係」の存在が女子大学生の孤独感と進路選択自己効力感に与える影響について	(松浦)
井上 茜	評価不安が自己好意に及ぼす影響—他者評価の観点から—	(中井)

右近 咲 乃	中学・高校部活動における友人関係と心理的居場所感が動機づけに及ぼす影響	(松浦)
宇佐美 茜	顔の魅力度が再判断に及ぼす影響 ～顔の社会的側面に注目して～	(伊東)
岡 辺 はる香	名前の表記や読みの違いが対人印象に与える影響	(吉村)
沖 英里乃	制御焦点が創造的課題の解決に及ぼす影響	(広瀬)
尾崎 絹 巴	製品の用途とパッケージデザインが購買意欲へ与える影響	(吉村)
小野 真 月	女子大学生における文化的自己観がセルフコンパッションに与える影響—文化的離反傾向との関連を通して—	(稲塚)
尾山 明 莉	対象に関する知識量がアンカリング効果に及ぼす影響	(広瀬)
蔭木 佑惟子	環境音が課題遂行に与える影響	(吉村)
兼重 未菜実	女子大学生における月経観と月経前症候群との関連 —セルフ・コンパッションによる緩衝効果—	(岩原)
菊地 宝	女子大学生における曖昧さへの態度及びマインドフルネス傾向と反すうの関連について	(下津)
岸 優 希	SOC および自尊心と主観的幸福感との関連について	(岩原)
木村 優 花	大学生の親友に対する心理的居場所感が他者理解に及ぼす影響	(中井)
桑原 彩 寧	甘えに対する意識と行動の一致性が自己肯定感に及ぼす影響	(中井)
小坂 裕 菜	声の高さと速さが性格印象に与える影響—自分の声の特徴と性別との関連から—	(吉村)
小畑 遥 香	自動思考の想起頻度と抑うつ傾向および主観的幸福感との関係について	(広瀬)
小林 理 央	顔の線画刺激の再認成績に及ぼす処理モードの影響	(伊東)
米屋 滯	女子大学生の瘦身願望と自尊感情および食行動異常との関連についての検討	(下津)
阪本 実 優	青年期後期の母娘関係における精神的自立と友人関係の特徴との関連	(松浦)
佐川 智 美	家族構成と気質が移行対象の発現に与える影響	(松浦)
佐藤 瑛里子	専門家と一般市民の帰属スタイルが少年行動の原因帰属・厳罰傾向に及ぼす影響	(中井)
澤井 美 佐	高齢者における加齢ステレオタイプと well-being との関連について	(岩原)
志柿 瑠 海	相談への期待と知覚された相談相手の反応の組み合わせによる相談回避の差異	(稲塚)
篠田 向日葵	化粧品に対する楽しみや義務感が化粧品後の気持ちや化粧品行動に与える影響について	(吉村)
嶋田 恭 子	体型印象管理予期と女子大学生の痩せ意識について～場面・性別・親密度が与える影響～	(吉村)
鈴木 野乃佳	HSP の敏感さと獲得的レジリエンス要因の関連性の検討	(下津)
竹下 茉 里	認知的対処から外傷後成長感に至るまで—主観的な意味の付与を媒介して—	(稲塚)
田中 乃絵留	仮想的有能感とふれあい恐怖の心性の関連 ～有能感の4タイプを用いて～	(下津)
筒井 真 那	養育者の援助要請意図に影響を与える要因 —個人の態度と原因帰属、サポート環境に着目して—	(松浦)
中田 早 紀	腕回し動作の左右の違いが創造的思考に与える影響	(岩原)
中西 美 咲	同性友人・異性友人に対する役割行動期待について	(稲塚)
中道 舞	商品の必要度、価格および限定の有無が購買欲に及ぼす影響	(広瀬)
西垣 果 李	ヘビへの恐怖心が認知処理速度に与える影響について	(伊東)
西脇 まゆら	女子大学生における自己の変容性とソーシャルスキルの関連	(松浦)
新田 涼 乃	グローバル処理・ローカル処理が認知スタイルに与える影響の検討 —Flamed Line Task (FLT) の絶対課題・相対課題を用いて—	(伊東)
古家 亜 依	フランクカー課題を用いた不快情動を喚起する刺激に対する注意バイアスの検討	(岩原)
松尾 綾 奈	自閉スペクトラム症児における発話プロソディ評価の一般化に向けた検討	(中井)
松村 早希子	両親の養育態度の一致性が子どもの気遣いに及ぼす影響	(中井)
溝部 菜 々	否定的—肯定的自動思考の生起傾向と Benefit-finding との関連	(稲塚)
宮本 彩 花	女子大生における孤独感と対処方略の関連 —誰と対処するかに着目して～	(広瀬)
森口 華 帆	被援助志向性と援助要請行動の一致性とコミュニケーション能力との関連	(中井)
守光 未 菜	インターネット上における他者情報の種類や匿名性がコミュニケーション行動に及ぼす効果	(吉村)

卒業論文題目

森 本 瑛利可	問題解決能力と大学生の進路選択過程との関連についての検討 ～進路選択不安とキャリア探索に注目して～	(下津)
矢 口 花 霞	簡略化された顔画像観察がパレイドリア現象にもたらす影響	(伊東)
山 田 希	他者の存在と感情状態が自己接行動に与える影響について	(吉村)
吉 岡 芽 映	友人への信頼度及び自己—他者関係観が言動へ与える影響について	(松浦)
吉 川 歩	怒りの対処方略と他者評価不安、及び抑うつとの関連性についての検討	(下津)
鷺 野 莉 子	友人関係における“キャラ”と友人関係満足感の関連 —キャラの能動性とキャラの受動性の視点から—	(稲塚)
松 平 有 未	女子大学生の学生相談への被援助志向性に関連する要因の検討 -セルフステイグマと学生相談室の認知度に着目して-	(下津)
芝 田 真 那	大学生の時間的展望とアパシー傾向の関連について	(稲塚)

音楽教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
青 木 優 芽	音楽の諸要素が中距離走 (800m) に与える影響の考察～タイム及び心理的効果の視点より～	(土崎)
浅 妻 菜々子	アルバン・ベルク《ピアノ・ソナタ》Op.1 に関する一考察	(大谷)
荒 木 陽菜花	J.S.Bach 《パルティータ第6番》BWV830 についての一考察	(大谷)
池 田 りぼん	ベッリーニオペラアリア《アデルソンとサルヴィーニ》より <Dopo l'oscuro nembo> と《カプレーティ家とモンテッキ家》より <Oh! quante volte, oh! quante> の研究	(ガハブカ)
井 藤 千 穂	スクリャーピン《幻想曲》Op.28 に関する一考察	(土居)
岩 佐 茉 歩	中田喜直作曲《ほしとたんぼぼ》より〈つち〉〈ほしとたんぼぼ〉・《六つの子供の歌》より〈おやすみ〉の歌唱表現について	(ガハブカ)
上 野 遥	ニコライ・メトネル《6つのおとぎ話》Op.51 の考察	(大谷)
大 島 愛 美	自作品 ピアノ独奏曲《ねこ》について ～描写音楽の創作～	(佐藤)
大 野 真 由	自作品 女声三重唱曲《まいにち》について —石垣りんの詩に向き合って—	(佐藤)
奥 山 紗 里	ベートーヴェン ピアノソナタ第26番 Op.81a 〈告別〉に関する一考察	(土居)
越 智 夏 輝	アレクサンドル・グラズノフ作曲《ピアノ・ソナタ 第2番 ホ短調》Op.75 より第1楽章について—ベリャーエフ・グループの視点から—	(大谷)
金 山 あゆみ	ラフマニノフ〈Vocalise〉に関する一考察	(ガハブカ)
椛 澤 里 緒	木下牧子作曲《愛する歌》より〈ひばり〉・〈きんいろの太陽がもえる朝に〉・〈地球の仲間〉の歌唱表現と小学校音楽科教育（高学年）での取り組みについて	(ガハブカ)
川 島 ことみ	より良いインクルーシブ音楽科教育の在り方 —中学校における通常学級用と特別支援学校知的障害者用の音楽科教科書の比較検討を通して—	(関口)
河原崎 ひなた	未就学児に対するサウンドエデュケーションについて	(荒川)
小 谷 真 凜	台本を用いた歌曲と詩を用いた歌曲の歌唱表現の違いについて ～ジャコモ・プッチーニ《Menti all'avviso (偽りの忠告)》《Sole e amore (太陽と愛)》～	(ガハブカ)
近 藤 真由美	オペラ《トゥーランドット》より アリア〈お聞きください、王子様〉〈氷のような姫君の心も〉における演奏表現に関する一考察	(ガハブカ)
酒 井 萌 恵	フレデリック・ショパン《バラード第4番》Op.52 に関する一考察	(土居)
阪 本 真衣美	ベッリーニ作品における「狂乱の場」について オペラ《清教徒》より〈Qui la voce sua soave〉と「6つのアリエッタ」より〈Per pietà, bell' idol mio〉の考察を通して	(ガハブカ)
崎 山 麟	フランツ・リスト《巡礼の年第2年補遺「ヴェネツィアとナポリ」》より〈タランテラ〉に関する一考察	(土居)
櫻 井 紗由美	自作品《夢中 (Symphonic ver.)》について —エレクtoonによる感情表現の探求	(佐藤)

発達教育学部紀要

芝田夏実	S.プロコフィエフ《ピアノソナタ第3番イ短調》作品28に関する一考察	(大谷)
鈴木晴日	自作品 雲をめぐる2つの小品《入道雲》《薄明光線》について ～印象主義音楽の視点から～	(佐藤)
関佳織	小学校第3学年におけるリコーダー指導について ～運指に着目して～	(荒川)
高橋美央	ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン ピアノソナタ第23番 Op.57〈熱情〉第一楽章に関する一考察	(土居)
寺田涼子	自作品 箏二面合奏曲《歴史》について—演奏様式の変容をたどって—	(佐藤)
共田桃菜	音や音楽を活用した乳幼児向け玩具のあり方に関する一考察	(関口)
永井海風	木下牧子作曲《おんがく》の一考察-同楽曲による独唱と合唱の違い-	(ガハブカ)
林真帆	中学校音楽科におけるICTを活用した鑑賞授業 -生徒の興味・関心をひきつける授業の提案-	(関口)
平井かのん	マイルス・デイヴィス研究 変容し続けるジャズ	(荒川)
藤本えり奈	ハンブルクにおけるテレマンの音楽活動に関する一考察 -『忠実な音楽の師』出版をめぐる-	(田崎)
水上采香	ジョゼフ・モーリス・ラヴェル《クーブランの墓》に関する一考察	(大谷)
三好結衣	身体の動きとピアノの音色との関係についての一考察 ～2015年「フレデリック・ショパン国際ピアノ・コンクール」ファイナリストの演奏比較より～	(田崎)
八十采音	自作品 女声三部合唱《はじめてのきもち》について	(佐藤)
山本実季	自作品 ピアノ四重奏曲《そら》について —作曲と編曲の過程から見えた音楽の可能性—	(佐藤)
二木文乃	自作品吹奏楽曲《夢のAdventure》について —物語における音楽表現—	(佐藤)

令和3年度

発達教育学部児童学科 卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
會津優歩	保護者の意識と子どもの生活習慣の関係	(黒原)
青山奈央	胎教に関する一考察 —7名の母親へのインタビューを通して—	(岡林)
東香里	感情の理解を促し、豊かな自己表現力が身につく木育玩具「どんな木もち？」	(矢野)
足立桃夏	小学生における運動あそびと生活習慣との関連	(黒原)
荒谷美優希	レオ・レオニ作『スイミー ちいさなかしこいさかなのはなし』における翻訳者谷川俊太郎の役割	(今田)
安徳祐希	1か月間のエアロビックダンスの実施が体格・体組成および体力に与える影響	(新矢)
池田美穂	人形劇複合施設「とらまるパペットランド」の現状と課題	(松崎)
石木優花	幼児の音を聴く力と表現力 —5歳児の実践を通して—	(岡林)
泉和音	非行行為がみられた発達障害児に対する学校の支援 —近年の文献からの検討—	(倉本)
市川陽菜	並行通園における保育施設と療育施設との連携について —療育施設への質問紙調査から—	(倉本)
伊東奈那	コロナ禍における創作ダンスの短期的実施が身体の動きおよび心情に与える影響	(新矢)
稲葉理乃	映像作品『となりのトトロ』にみる表現のあり方 —音楽的視点からの分析を中心に—	(岡林)
井上愛彩	京都市の街区公園の現状と子どもの体力・運動能力の低下との関連性	(黒原)
今村仁美	早期教育の在り方について —ピアノ教育に注目して—	(岡林)
今村有那	子どもの絵本、児童文学との触れ合い経験と性格特性との関連について —小学校5、6年生の質問紙調査から—	(瓜生)
岩間世紫乃	自然体験遊びを通じた非認知能力育成の可能性 —幼稚園における環境教育の事例研究—	(瀬々倉)
上田紗英	コロナ禍における保育現場のマスク着用の実態と課題	(上月)
植田晴美	幼少期の自然体験がその後のレジリエンスに及ぼす影響について —大学生への質問紙調査からの考察—	(瓜生)
宇田容子	出生前診断における女性の自己決定尊重とその課題	(黒田)
江崎史佳	自閉スペクトラム症のこだわり行動の軽減と予防 —事例研究の文献レビューから—	(倉本)
江竜百音	基本的自尊感情を育むための保育 —文化的背景を考慮して—	(黒田)
大原詩菜	運動経験が現在の性格形成に及ぼす影響についての研究	(黒原)
大平小雪	幼児期に繰り返し歌われる子どもの歌に関する一考察 —〈どんぐりころころ〉を通して—	(神原)
大村由芽	ロック・フェスティバルの実態 —感染症拡大防止の観点から—	(神原)
帯包悠加	幼児期の歌唱活動に関する一考察	(岡林)
加藤由佳	移行対象の発生源 —青年期女子と母親の回想的質問紙調査による子の保育経験・母親の就業形態・母子関係の要因の検討—	(古池)
角倉慧	こぐまちゃんえほん研究 —動きを感じる絵の表現を中心に—	(松崎)
金戸美波	オンライン双方向型親子支援を評価する試み —サービス・マーケティング視点の援用—	(瀬々倉)
釜山和子	絵本作家、林明子と筒井頼子が描くきょうだいの姿	(今田)
川畑陽菜乃	劇人形の動作表現における鑑賞者の感情識別	(松崎)

発達教育学部紀要

喜坂美空	障がい児への支援のための保育室内環境の構造化について—保育関係者へのインタビュー・質問紙調査から—	(瓜生)
木瀬あゆみ	かがくいひろしの絵本にみる「簡潔さ」と「過剰さ」—子どもの笑顔を生み出す表現—	(今田)
北島加奈子	乳児が五感を育み、音に触れるきっかけとなる玩具「木のん」	(矢野)
桑田弓華	子どもの主体的な劇活動を導く保育者の援助	(岡林)
光嶋咲子	女子大学生の就学前から高校までにおける定期的な運動の実践が運動有能感へ及ぼす影響	(黒原)
後藤菜美羽	遊びを通して交通ルールを知るための知育玩具「とまっとすごろく」	(矢野)
後藤優子	木や自然に対する関心・親しみを育むボールプール「ころっきー」	(矢野)
佐々木莉里香	幼児期における音楽教育に関する一考察—音楽教室におけるピアノ指導を手掛かりとして—	(神原)
佐々木和奏	児童期の引っ込み思案が青年期の自尊感情に与える影響—自尊源とその充足感に着目して—	(古池)
佐藤夏実	保育現場における保育者の「気になる子ども」への支援について—近年の調査・事例研究からの検討—	(倉本)
佐藤弓月	父娘関係が青年期の娘のパートナー選びに与える影響—父親と交際相手の類似性に着目して—	(古池)
眞田樹南	ターミナル期の患者における浄土真宗の意義	(黒田)
澤邑風香	アニメ『クレヨンしんちゃん』に見られる主人公しんのすけの「思いやり行動」	(上月)
新谷美羽	子どもの生活習慣とICT機器利用についての一考察	(黒原)
新藤咲苗	女子学生における骨強度に影響を及ぼす生活習慣因子の検討	(間瀬)
杉本ひいな	子どもの生活環境を支援する木の遊具「はんなりはうす」	(矢野)
住友茉莉	オンライン双方向型による親子支援活動の検討—保育学生のかかわりに関する動画分析—	(瀬々倉)
瀬戸菜々美	性格特性に及ぼす乳児保育経験の影響について—大学生の質問紙調査からの検討—	(瓜生)
善塔愛那	女子大生における体型認識と食生活及び運動習慣の関連について	(黒原)
泰間映美	学生の考える「理想の保育士」とその形成に影響を与える要因について	(倉本)
高橋那奈	1970-80年代における女性アイドルの誕生とその変容について	(神原)
高橋舞帆	幼児における体格と体組成との関連性	(間瀬)
瀧田菜々	バリアフリー絵本の保育活用—視覚障害の視点から—	(今田)
竹中葵月	東京ディズニーリゾートにおけるショー音楽の魅力について—ゲスト参加型ダンスプログラムを中心に—	(神原)
田外有希恵	女子学生における骨強度と体格・体組成との関連性	(間瀬)
橘咲里	食事バランスガイドからみた食事摂取量と骨密度、基礎体温および便秘の関係	(新矢)
田中菜緒	女子学生における骨強度と体格・体組成との関連性	(間瀬)
田中美沙季	保育を学ぶ女子大学生が抱く発達障害に対するイメージとその関連要因について	(倉本)
田中柚香	自重を用いた運動負荷が骨強度に及ぼす影響—かかと落とし運動による検討—	(間瀬)
谷口ひなた	認知発達を促す木の玩具「さわるみるー」	(矢野)
堤菜月	『ばばばあちゃん』料理絵本シリーズの考察—「ばばばあちゃん」を保育者と想定して遊びの指導性を考える—	(上月)
鶴見朱里	思いやりを育む保育—実践事例を通して—	(黒田)
仲友里子	総合的な発達を促す木の遊具「いらっしゃいませ」	(矢野)
中井悠薫	食事バランスガイドからみた食事摂取量と骨密度、基礎体温および便秘の関係	(新矢)
中居淑佳	自重を用いた運動負荷が骨強度に及ぼす影響—かかと落とし運動による検討—	(間瀬)
中右紫苑	アンパンマンが幼い子どもたちに愛される理由—作者の願いと表現の変遷—	(今田)

卒業論文題目

中江 あかり	子どもの「つくりうた」について	(岡林)
中尾 彩乃	幼少期からの両親の夫婦関係と友人関係が青年期のパーソナリティに与える影響	(古池)
野邑 枢生	オオカミは悪者なのか —絵本に描かれるオオカミのキャラクターが子どもに与える印象について—	(今田)
長谷川 あすみ	保育を学ぶ女子学生における児童虐待への通告をためらう理由	(倉本)
濱 嵩 ひなの	乳幼児向け番組『シナぷしゅ』にみる教育的意義	(岡林)
林 美来	大人はサンタクロースに何を託しているのか —クリスマスを主題とする絵本の分析から見るサンタクロースの役割—	(今田)
原 実里	肺活量トレーニングが体格・体組成および体力に与える影響	(新矢)
原 優子	グリーフケアにおける絵本の可能性 —母親との死別を描いた絵本の研究—	(今田)
東田 紗季	ミュージカル音楽の魅力 —映画《サウンドオブミュージック》の楽曲研究を中心に—	(神原)
深井 萌々子	母親のライフスタイルの影響について —女子大生の将来のライフスタイルとの関係—	(瓜生)
深尾 七菜	ディック・ブルーナのうさこちゃん絵本シリーズに関する考察 —乳幼児向け絵本としての検討—	(黒田)
福留 紗奈	産後の母親に対する社会的支援の研究 —産後うつ病の早期発見・回復に向けて—	(黒田)
福場 茉奈	幼児の身体表現遊びにおける言葉かけと指導シートの作成	(上月)
藤 有奈	「活動アナリシスアプローチ」を用いた指導案作成の試み —「鬼ごっこ」を取り上げて—	(上月)
藤野 あかね	良い玩具についての保護者の意識および子どもが玩具を用いて遊ぶ際の関与	(松崎)
藤村 桃	伝統からくり玩具の仕掛けを利用した思考を促す玩具「カラクル カラーセル」	(矢野)
布施 朱梨	子育て家庭におけるデジタル絵本の浸透・普及の実態調査 —認定こども園の保護者への質問紙調査から—	(瓜生)
船越 奏	まど・みちおと詩の世界	(神原)
分田 百音	幼児期におけるマーチングバンド活動の実態と課題	(神原)
真崎 小春	子どもの劇活動における保育者の援助 —幼児の主体的表現に着目して—	(神原)
松井 香澄	父親の子育て支援ニーズに関する調査 —アンケート及び子育て支援実践の関与観察—	(瀬々倉)
松井 恭子	女子学生における骨強度に影響を及ぼす生活習慣因子の検討	(間瀬)
南 早栄	絵本の読み聞かせの取り組み方や絵本の選択志向 —保護者・保育者への質問紙調査から—	(瓜生)
三原 利菜	コロナ禍における創作ダンスの短期的実施が身体の動きおよび心情に与える影響	(新矢)
宮城 千晶	現代の音楽聴取のあり方	(岡林)
村上 明哉佳	幼児における体格と体組成との関連性	(間瀬)
村下 真美	保育系学生の進路選択と施設実習の関係について —インタビュー調査を通して—	(倉本)
森山 芽結	子守唄が子どもの心に与える影響とその伝承の関係について	(神原)
矢ヶ部 奏子	愛着を育む、ドールハウスと積み木を組み合わせた玩具「ノムハウス」	(矢野)
山崎 早瑛	食事バランスガイドからみた食事摂取量と骨密度、基礎体温および便秘の関係	(新矢)
山崎 理乃重	習い事選択におけるきょうだいの影響	(瀬々倉)
山条 咲良	『こどもの雑誌』のおとぎ話に描かれた善悪からみるポーモン夫人の教育観	(松崎)
山田 理子	立位姿勢の傾きと全身筋肉量および重心位置の関係	(新矢)
横石 紀佳	伝承遊びに親しみ、考えて遊ぶ玩具「かさねゴマ」	(矢野)
吉岡 里紗	夫婦間の経済力の差が夫の家事参加の程度に与える影響 —育児期世代と中年期世代の夫婦の検討—	(古池)
好川 由花子	映画「チョコレートドーナツ」から考える家族のかたち	(今田)

発達教育学部紀要

吉澤 萌	滋賀県東近江市御園地区内の公園の現状と課題	(松崎)
吉田 美結	『おかあさんといっしょ』に見られる身体表現遊びの考察 —スタジオに子ども不在時の言葉かけに注目して—	(上月)
吉本 美穂	近年の育児の変化 —育児書の比較を通して—	(黒田)
米澤 奈歩	高等学校における発達的な偏りのある生徒に対する進路指導の現状と課題	(古池)

〈投稿規定〉

平成16年4月1日 制定

最近改正 令和元年5月29日

第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。

第2条 本誌は、本学部の諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び発達教育学部の教育研究活動に関する情報、その他（以下、論文等という）を掲載する。

第3条 論文等の掲載は、教育学科教育学専攻、養護・福祉教育学専攻、音楽教育学専攻、児童学科、心理学科の順に行う。

第4条 本誌への投稿資格は次の通りとする。

- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員。
- (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
- (3) その他、編集委員会が特に認めた者。

第5条 執筆者は、論文等の原稿提出に先立って、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の校閲を経ることとする。

第6条 論文等を本誌に掲載するにあたり、執筆者は他者の著作権等を尊重しなければならない。そのために必要な手続きは、執筆者が自ら行うこととする。

第7条 投稿された論文等の採否は、編集委員会によって決定する。

第8条 執筆者に抜き刷り30部を贈呈する。それを超える部数は実費負担とする。

第9条 本誌に掲載された論文等は、原則として全文又はその一部を電子化し、京都女子大学学術情報リポジトリサーバ或いはその他のコンピューターネットワーク上で公開する。

2 執筆者は、本誌に掲載された論文等の著作権のうち、複製権及び公衆送信権を京都女子大学に許諾する。但しこれらの許諾は取り消すことができる。

附則

この規定は、平成26年2月18日教授会後、学部所属教員の了承済み。

附則

この規定は、令和2年4月1日から施行する。

編 集 委 員

委員長 中村亜紀

委 員 佐藤岳昌 瀬々倉玉奈 滝川国芳 中井 靖
(五十音順)

京都女子大学

発達教育学部紀要 第 18 号

令和 4 年 3 月 4 日 印刷

令和 4 年 3 月 9 日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 株式会社 彩流工房